

9月19日(木) 11:30-13:00

19-1	学校でできる認知行動療法：抑うつ予防プログラムの実際		石川 信一(同志社大学心理学部)
	認知行動療法は成人に対して病院で行われる治療法だと思われているかもしれませんが。ところが、認知行動療法は、子どもの心理的問題の支援にも有益であることが分かっています。そこで、本ワークショップでは、「学校でできる認知行動療法」をテーマに、宮崎大学メンタルヘルス研究会で開発されたプログラムの紹介をしたいと思います。学校臨床に携わる方、子どもの認知行動療法に興味のある方のご参加をお待ちしております。		
	定員：30名	対象：初級	キーワード：認知行動療法・学校・子ども・抑うつ
	事前学習 (参考文献)	佐藤正二・佐藤容子・石川信一・佐藤寛・戸ヶ崎泰子・尾形明子 (2013). 学校でできる認知行動療法—子どもの抑うつ予防プログラム [小学校編] — 日本評論社	
19-2	目で見て体験する行動科学の世界 2013		和田 博美(北海道大学文学研究科) 磯 博行(兵庫医療大学) 漆原 宏次(北海道医療大学)
	学習理論に基づいた行動の獲得、変容過程について、理論的な説明と実験動物やコンピュータ・シミュレーションを用いた実習・実演を行い理解を深める。具体的には、ラットを用いたレバー押し訓練(シェーピング)、ヒトの随伴性学習課題などについて、デモンストレーションを交えて解説する。基礎分野の初学者には座学では学べないスキルやノウハウを、基礎分野以外の研究者には実際の実験を間近で見て体験する機会を提供する。		
	定員：80名	対象：初級～中級	キーワード：古典的条件づけ・オペラント条件づけ・動物実験・実習・ビデオ実演
	事前学習 (参考文献)	メイザー著 『メイザーの学習と行動 日本語版第3版』 磯 博行・坂上 貴之・川合 伸幸 訳 二瓶社 2008年	
19-3	今日からはじめる Mplus と R による構造方程式モデリング		小杉 考司(山口大学教育学部) 清水 裕士(広島大学大学院総合科学研究科)
	構造方程式モデリング(SEM)を実装するソフトウェアは数多くあるが、近年 Mplus と R が注目されはじめています。Mplus は他の統計パッケージに比べて安価であり、かつ非常に高度な統計処理を簡単なコーディングで行うことが出来る。また、R は無償でありながら、統計処理が必要なほぼ全ての分野をカバーする強力なプラットフォームである。そこで本セミナーでは、Mplus と R を用いた SEM の分析例を紹介する。		
	定員：100名	対象：初級	キーワード：構造方程式モデリング・Mplus・R
	事前学習 (参考文献)	狩野裕 三浦麻子 著 2002 グラフィカル多変量解析 増補版 現代数学社 豊田秀樹 著 2007 共分散構造分析 Amos 編 東京図書	
19-4	心拍変動バイオフィードバック法		榊原 雅人(愛知学院大学心身科学部心理学科)
	近年、米国バイオフィードバック学会(AAPB)を中心に心拍変動バイオフィードバック(HRV-BF)法が注目され、その臨床的有用性が数多く報告されています。HRV-BF 法は自律神経活動を反映する心拍変動に着目した新しいバイオフィードバック法として、ストレスに関わる多くの疾病に応用されてきました。ワークショップではこの技法の効果機序をわかりやすく解説するとともに、小型機器を用いて体験的に学習します。		
	定員：30名	対象：中級	キーワード：心拍変動・バイオフィードバック法・ストレス・リラクゼーション・ストレス関連疾患
	事前学習 (参考文献)	榊原雅人(2012). 心拍変動バイオフィードバック法の臨床応用—治療的效果と理論的基礎について—. 愛知学院大学心身科学部紀要, 8, 59-72.	
19-5	心理学研究のための Python 活用法		十河 宏行(愛媛大学法文学部)
	心理学研究におけるプログラミング言語 Python のさまざまな活用法を紹介します。前半は Python の機能を拡張する「パッケージ」のうち、データ処理やハードウェア制御に役立つパッケージの概要を紹介します。後半は刺激呈示および反応計測に役立つパッケージを紹介し、その一つである PsychoPy を用いて実験を作成するデモを行います。初級向けですが Matlab との比較など一部高度な内容を含みます。		
	定員：30名	対象：初級	キーワード：刺激呈示・反応計測・オープンソース・Python・PsychoPy
	事前学習 (参考文献)	Python で心理実験 (http://www.s12600.net/psy/python/)	
19-6	産業場面におけるメンタルヘルス教育の進め方		種市 康太郎(桜美林大学心理・教育学系)
	メンタルヘルス教育をはじめとする健康教育を進めるにあたっては、参加者の動機付けを高め、内容を具体的にわかりやすく伝えることが必要です。この講座では産業場面のメンタルヘルス教育の進め方のコツや気をつける点をお伝えします(グループワークも予定)。内容は他分野にも応用可能ですので、幅広い領域からのご参加をお待ちしています。なお、この講座は日本心理学会・産業保健心理学研究会の活動の一環として提供致します。		
	定員：50名	対象：初級	キーワード：産業保健心理学・健康教育・メンタルヘルス・ストレス
	事前学習 (参考文献)	厚生労働省ホームページ「こころの耳」(http://kokoro.mhlw.go.jp/) 事業所におけるメンタルヘルスサポートページ (http://www.jstress.net)	

	感情の精神生理学的測定		手塚 洋介(大阪体育大学体育学部) 藤村 友美 (独)科学技術新興機構 ERATO 岡ノ谷情動情報プロジェクト)
19-7	感情の精神生理学研究を新たに始めようとした場合に、実験環境の設定や測定法の選択、データの解釈に至るまで、多くの困難を伴う。このワークショップでは、表情筋活動と自律神経活動に焦点を当て、感情の精神生理学的手法に関する情報提供を図ることを目的としている。当日は、各種指標の測定法、各指標を用いた研究の標準的な実験プロトコル、実際の研究例などの紹介に加え、末梢神経系の生理学的測定を実演する。		
	定員:60名	対象:初級~中級	キーワード:感情の精神生理学・表情筋・筋電図・自律神経系・心電図
	事前学習 (参考文献)	J・ハセツト 平井 久・児玉昌久・山中祥男(編訳)(1987). 精神生理学入門 東京大学出版会 加藤 象二郎・大久保 堯夫(編)(2006). 初学者のための生体機能の測り方(第2版) 日本出版サービス	
	H. Rorschach が施行したうつそのロールシャッハ・データの再現—93年を経て包括システムでよみがえらせる		中村 紀子(中村心理療法研究室)
19-8	第一次世界大戦後間もなく、抑うつ状態で入院した仕立屋の36歳の男性に H.Rorschach 自身が施行した資料を用います。1920年当時は12枚の図版を用いていました。このような歴史的に貴重なデータを用いて、H. Rorschach の原点に戻りつつ、データを現代の包括システムのロールシャッハに仕立て直して検討します。ロールシャッハの古くて新しい、今に通ずる、臨床に使える面白さを学びます。		
	定員:50名	対象:中級~上級	キーワード:H. Rorschach・包括システムによるロールシャッハ・アセスメント・depression
	事前学習 (参考文献)	ロールシャッハとエクスナー(2005, 金剛出版)	
	新版 K 式発達検査作成の背景と全体像へ		中瀬 惇(元京都府立大学)
19-9	新版 K 式発達検査は、1931(昭和6)年に、日本で最初に出来た子どもの総合的機関である京都市児童院で、園原太郎により作成使用されてきた三種の検査を基礎として、1951(昭和28)年から新たな検査作成を目指して、四次の改訂を重ねて院内検査として作成された K 式発達検査(旧 K 式と呼ぶ)を基礎にして、多くの要望に応じて、公表を目指して検査を再標準化して、嶋津峯真、生澤雅夫、中瀬惇が、1980年に新版 K 式発達検査として発表したのが最初である。その後、時代的要請に合わせて改訂し、現在では新版 K 式発達検査 2001 が最新版となっている。この様な歴史的経過を説明した上で、本検査が考えている検査項目の使い方、検査から読取ろうとしている心理的側面について、先ず、理解して戴きたい。その上で、検査の将来的発展についても考えておきたい。同様のワークショップが続いて開催されるなら、具体的な検査施行の問題、検査結果を数量化する問題を加えて、全体で三回程度で、実際に検査を使用出来る技能を身に付けて戴ければ、検査を作成した著者の一人として幸いである。		
	定員:50名	対象:初級	キーワード:発達検査・発達指導・乳幼児検査・障害児検査
	事前学習 (参考文献)	中瀬惇著「心理学研究法」金子書房 中瀬惇著「新版 K 式発達検査にもとづく発達研究の方法」ナカニシヤ出版 ※可能であれば、検査用具を見ておいていただきたい。	
	テキストマイニングの基礎:文書データの統計解析		樋口 耕一(立命館大学産業社会学部)
19-10	質問紙調査における自由記述をはじめ、様々な文書データを統計的に分析する方法を紹介する。ここで紹介するのは従来の内容分析(content analysis)の考え方にもとづきつつ、近年のテキストマイニング技術を活用する、「計量テキスト分析」という方法である。「座学」だけでなく、フリーソフトウェア「KH Coder」を用いた実践の手順についても紹介し、当日は実際の分析を体験していただく予定である。 ※Windows ノート PC をご持参の方は、チュートリアルワークショップ内で実際の分析をご体験いただけます。この場合は http://goo.gl/5U46q にて配布のファイル群もダウンロード・持参してください。		
	定員:50名	対象:初級	キーワード:内容分析・計量テキスト分析・自由記述データ・インタビューデータ
	事前学習 (参考文献)	樋口耕一 2012 「社会調査における計量テキスト分析の手順と実際 —アンケートの自由回答を中心に— (第10章)」 石田基広・金明哲編著『コーパスとテキストマイニング』共立出版 119-128 樋口耕一 2013 KH Coder の Web ページ http://khc.sourceforge.net	
	トラウマ的体験またはストレスフルな体験への対処: 筆記療法の基礎と臨床		余語 真夫(同志社大学心理学部)
19-11	圧倒的で解決困難な出来事に直面した人に慢性ストレス反応が生じることがある。慢性ストレス反応を緩和させるのに役立つ心理学的介入法の一つに筆記療法がある。筆記療法は80年代半ばに実験社会心理学分野で誕生し、実験室と臨床場面でその効果検証研究がなされてきた。筆記療法を日常生活や職業生活、教育場面や医療場面などで利用するための基礎になる、理論と方法論、臨床的効果、想定される媒介メカニズムについて解説する。 ※筆記具〔鉛筆、シャープペンシル、またはボールペン〕持参願います。		
	定員:30名	対象:初級	キーワード:言語・実行機能・感情・ストレス・介入法
	事前学習 (参考文献)	J.W.ペネバカー(著)余語真夫(監訳)オープニングアップ 北大路書房 S.レポーレ・J.スマイス(編著)余語真夫・佐藤健二・河野和明・大平英樹・湯川進太郎(監訳)筆記療法 北大路書房	

9月20日(金) 11:30-13:00

20-1	コーチング心理学の理論と基本的技法		石川 利江(桜美林大学心理・教育学系) 松田 与理子(ひとエナジー研究所)
	コーチング心理学は欧米を中心に近年発展し始めた非常に新しい学問領域であり、本邦における実践的研究は少ない。そこで、本ワークショップでは、コーチング心理学のモデルと実践のための基本的技法を紹介し、体験的な学習を試みる。さらに、本邦での実践においてどのような可能性や問題があるのか検討したい。		
	定員:50名	対象:初級	キーワード:コーチング心理学・モデル・介入・育成・健康心理学
事前学習 (参考文献)	Palmer, S. & Whybrow, A. 2008 Handbook of Coaching Psychology A Guide for Practitioners. (堀正監修・監訳 2011 コーチング心理学ハンドブック 金子書房)		
20-2	自己報告式心理尺度の信頼性と妥当性における新しい国際基準(Consensus-based Standards for selection of health Measurement Instruments : COSMIN)を学ぼう		土屋 政雄 (労働安全衛生総合研究所 作業条件適応研究グループ) 奥村 泰之 (国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所社会精神保健研究部) 国里 愛彦(早稲田大学人間科学学術院)
	近年国際誌に投稿される論文は、CONSORT 声明や STROBE 声明などの基準に沿うことが求められるようになってきた。本ワークショップでは、健康を測る心理尺度の信頼性と妥当性の新しい国際基準である COSMIN チェックリストを理解し、研究で質問票を用いる際や臨床実践で使用の際の解釈に活用できるようになることを目指す。まずチェックリストの概要を説明し、小集団ディスカッションを通じて体験的に学ぶ。 ※受講にあたっては、以下の条件を満たすことが望ましいです。 (1)英文雑誌に論文を投稿する予定がある (2)統計的検定や多変量解析の使用経験がある		
	定員:20名	対象:中級	キーワード:患者報告式アウトカム・臨床評価・データ解析環境 R
事前学習 (参考文献)	1) De Vet, H. C. W., Terwee, C. B., Mokkink, L. B., Knol, D. L. Measurements in Medicine. A practical guide. 1 ed. Cambridge: Cambridge University Press; 2011. 2) COSMIN manual (http://www.cosmin.nl/downloads_1_20.html)		
20-3	コミュニティ強化と家族訓練を用いた引きこもり支援		境 泉洋 (徳島大学大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部)
	ひきこもり状態への支援において、家族支援は必須の技法となります。家族支援においては、家族関係の改善、ひきこもり当事者を適切な支援につなげることが目標となります。家族を介したひきこもり本人の動機づけに必要な技法をマニュアルに基づいて効率よく実施するために、厚生労働省のガイドラインにも紹介されている、コミュニティ強化と家族訓練 (Community Reinforcement and Family Training : 通称 CRAFT) の成り立ちと実践方法を学んでいきます。 ※ひきこもり支援に携わった経験のある方、これから携わろうとしている方の受講を推奨します。		
	定員:50名	対象:中級	キーワード:ひきこもり・CRAFT・家族支援・認知行動療法・マニュアル
事前学習 (参考文献)	境 泉洋・原井宏明・杉山雅彦 (監訳) 2012 CRAFT 依存症患者への治療動機づけ 家族と治療者のためのプログラムとマニュアル 金剛出版		
20-4	パワーポイントに別れを告げよう —非線形プレゼンテーションによる研究成果の発表—		澤田 匡人(宇都宮大学教育学部)
	学会の口頭発表にてプレゼンテーションソフトの利用は当然となりつつある昨今。しかし、大量の情報をスライドに詰め込みすぎてわかりにくくなったり、余計なエフェクトをつけてかえって見づらくなるなど、貴重な成果が聴衆にうまく伝わらないケースも少なくない。このセミナーでは、PowerPoint のような従来型のスライド作成の勘所から「非線形プレゼンテーション:Prezi」を用いた発表に至るまで網羅的に解説する。		
	定員:200名	対象:中級	キーワード:パワーポイント・keynote・非線形プレゼンテーション・Prezi・スライド
事前学習 (参考文献)	特になし		
20-5	日常生活に活かす応用行動分析学		島宗 理(法政大学文学部心理学科)
	本ワークショップでは、ダイエットや余暇などのセルフマネジメント、企業のパフォーマンスマネジメント、大学生向けの教材開発など、心理・教育臨床以外の領域における応用行動分析学の研究と実践を取り上げます。日常生活における問題を解決するために、標的行動を焦点化し、測定し、ABC 分析から解決策を模索し、シングルケースデザインの考え方をを用いて持続可能な行動システムを構築する方法を学びます。		
	定員:20名	対象:初級~中級	キーワード:応用行動分析学・パフォーマンスマネジメント・インストラクショナルデザイン・シングルケースデザイン・日常生活
事前学習 (参考文献)	島宗 理 (2010) 人は、なぜ約束の時間に遅れるのか - 素朴な疑問から考える「行動の原因」		

20-6	臨床に生きる基礎研究		杉浦 義典(広島大学総合科学研究科)
	臨床心理学と基礎研究の懸け橋になるような研究は日本でも盛んになっています。このWSでは、「どんな研究を読むべきか」、「どんな研究をするとよいか」という目利きのコツをお伝えしたいと思います。具体的には、個人差(質問紙)研究はどのように参考になるのか? どのような従属変数が実り多いのか? 流行の理論をおさえることの意義は? といった問いをたてて研究の具体例をお示ししながら考えていきたいと思います。		
	定員: 60名	対象: 中級~上級	キーワード: 個人差研究・認知モデル・生成力・アナログ研究・トランスレーション
	事前学習 (参考文献)	杉浦義典 (2009). アナログ研究の方法 新曜社	
20-7	発達障害のある大学生への支援		高橋 知音(信州大学教育学部)
	発達障害のある大学生の増加がメディアでもとりあげられ、大学での支援が求められています。大学での支援におけるキーワードは「合理的配慮」です。合理的配慮は障害のある人の権利保障のための措置であり、これまで心理学、心理臨床の文脈ではあまり取り上げられてこなかった概念です。そこで、発達障害のある大学生への合理的配慮とはどのようなものか理解を深めるとともに、大学での支援のあり方について考えていきます。		
	定員: 150名	対象: 初級	キーワード: 発達障害・合理的配慮・大学生・心理教育的アセスメント・学生支援
	事前学習 (参考文献)	高橋知音 (2012) 発達障害のある大学生のキャンパスライフサポートブック 学研 文部科学省 (2012) 障がいのある学生の修学支援に関する検討会報告 (第一次まとめ) http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/24/12/1329295.htm	
20-8	外部競争的研究資金の獲得のための tips		津田 彰(久留米大学文学部心理学科)
	日本学術振興会(JSPS)などの科研費の採択に対して、よく私たちは「当たった」という表現をすることがあります。謙遜して使うことが多いかもしれませんが、科研費の採択は「宝くじ」のような運まかせの当選ではありません。外部競争的研究資金の獲得法のための十分条件はありませんが、私の限られた経験ですが、必要条件はたくさんあります。ここでは、参加者の皆さんと一緒に、そのような tips について考えていきたいと思います。 ※ご自分が考えられている研究計画書のドラフトがあれば、それを持参下さい		
	定員: 50名	対象: 初級	キーワード: 外部競争的研究資金・日本学術振興会・科研費・特別研究員・公益財団法人助成財団センター
	事前学習 (参考文献)	日本学術振興会科学研究費助成事業 (http://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/) 公益財団法人助成財団センター (http://www.jfc.or.jp/)	
20-9	Processing による心理実験プログラミング入門		津田 裕之(京都大学大学院人間・環境学研究科)
	Processing というプログラミング言語(環境)を用いて心理実験用プログラムを作成するための方法について講義する。Processing は無償で用いることができるため、研究や教育場面において有償ソフトの代替手段の1つとして有用と考えられる。本チュートリアルでは Processing の導入方法と基本的な使い方、また心理学研究において Processing を使うことの利点と短所について解説する。 ※事前知識や当日の準備物は特になにも必要ありません。		
	定員: 50名	対象: 初級	キーワード: 心理実験プログラミング・プログラミング言語・フリーソフト
	事前学習 (参考文献)	特になし	
20-10	心理学実験の参加者管理に際するオンラインシステムの活用		村山 綾 (関西学院大学大学院文学研究科 応用心理科学研究センター)
	心理学実験の参加者募集や管理は、研究の進捗や生産性向上のため効率化が求められる。多くの欧米の大学では、大規模なサブジェクトプールをオンラインシステムで一括管理する方法を積極的に利用している。本チュートリアルでは、関西学院大学応用心理科学研究センターが米サービス提供会社と共同で日本語化したオンライン実験参加者管理システムによる効率的な実験参加者の管理方法や従来の方法と比較した場合の利点等を解説する。 ※ネット接続可能なPCを持参して受講すれば、ワークショップ中にその場でシステムを試用できます		
	定員: 50名	対象: 初級	キーワード: 実験参加者管理・サブジェクトプール・オンライン・システム
	事前学習 (参考文献)	システムに関する Web サイト http://kg-caps.com/information/2013/03/13/participant_pool/	
20-11	計測処理屋から見た”生体電気現象測定の基礎から応用へ” - ノウハウだけでなく Know why -		金子秀樹(ニホンサンテック株式会社)
	生理心理学の分野で利用される脳波や筋電図などの生体電気現象の測定において、交流ノイズ(ハム)などのアーティファクトに悩まされることは多い。長年に渡る ME 機器メーカーでの経験に基づき、より綺麗な生体信号の測定が行えるノウハウを、理由と共に伝え、現場で応用できるものとします。『電極を正しく取り付ければ、実験は半分成功したものと』と、言われる所以を習得頂きます。これから始められる方だけでなく、ノイズに悩まされている方、原因を明確にしたい方や実習指導される方々にもお勧めできます。		
	定員: 50名	対象: 初級~上級	キーワード: 生体電気現象 [脳波・筋電図]・ノイズ対策・生体アンプ [差動増幅器]・電極抵抗計 [電極インピーダンス]・アクティブ電極
	事前学習 (参考文献)	事前に予習すべきキーワード: 細胞電位、分極電圧、オームの法則 (V=IR)、インピーダンス、右ねじの法則、フレミング右手の法則、デシベル (dB)、接地アース、交流ノイズ(ハム)、電界、磁界、静電シールド、電磁シールド	

9月21日(土) 11:30-13:00

21-1	マインドフルネスの実践方法		伊藤 義徳(琉球大学教育学部)
	近年マインドフルネスという概念が注目を集めているが、それが何なのか、幾ばくかでも確信を持てる人はまだ少ない様である。その大きな原因の1つは、マインドフルネスを実践体験から学ぶことなく、代わりにそれを頭で理解しようという姿勢にある。人は行為により人たり得るにもかかわらずである。そこで本WSでは、短時間でも実際に瞑想体験を行い、体験の智を基にマインドフルネスを理解しその可能性を吟味する場を提供したい。 ※マインドフルネスに関する文献を一冊以上読み、マインドフルネスという概念に対する知的理解はできていること。		
	定員:50名	対象:中級	キーワード:マインドフルネス・瞑想・知的理解と体験的理解・気づき・効果のメカニズム
	事前学習 (参考文献)	「うつのためのマインドフルネス実践」 越川房子監訳 星和書店 「マインドフルネスストレス低減法」 春木豊訳 北大路書房	
21-2	認知行動療法的介入による慢性疾患患者への保健行動の支援		岡 美智代(群馬大学大学院保健学研究科)
	慢性疾患患者の生活習慣を改善することは難しいが、筆者は看護師として、保健行動の支援に認知行動療法的手法を活用し効果を実感している。そこで本ワークショップでは、認知行動療法的手法を活用した保健行動支援の実際と、保健行動支援に役立つ多要因を考慮した保健行動モデルについて紹介することを目的とする。なお、適正体重計算や簡単な体力測定も行うため、ご自身の健康チェックをしたい人の参加も大歓迎である。 ※できれば動きやすい服装でご参加ください		
	定員:20名	対象:初級	キーワード:保健行動支援、認知行動療法的介入、健康チェック、保健行動モデル、interdisciplinary
	事前学習 (参考文献)	特になし	
21-3	不登校(小・中)の予防と支援のための学校現場での心理学的支援スキル		神村 栄一(新潟大学人文社会・教育科学系)
	不登校(小・中)支援に携わるすべての方(資格等は不問)が対象。「地域の不登校発生率を抑制」し、「不登校の子と学校・教室で再会する」心理学技術(認知行動療法がベース)の解説。学会らしからぬ(?)超実践的内容。「社会や家庭、本人“特性”等の要因」を“したり顔”で解説するも現場での具体策は「エネルギー蓄積を待ちましょう」しか言えない状況に忸怩たる思いの方、下記参考文献が気になる方、お待ちしております。 ※対象:認知行動療法について初級~中級の方 ※小中学校の実践、教育相談の現場で活躍中の方、その予定の方大歓迎		
	定員:50名	対象:初級~中級	キーワード:不登校・中1ギャップ・漸次的接近(継時近接)・エクスポージャー・別室登校
	事前学習 (参考文献)	小坂井・神村 2013 不登校の王道を極める7つの秘訣(臨床ゼミ:認知行動療法中級レッスン⑩)、「臨床心理学」(金剛出版) 第13巻2号(2013年3月刊)、281-288頁	
21-4	犯罪被害者のトラウマへの対応		小西 聖子(武蔵野大学人間科学部)
	犯罪被害者のトラウマ反応、PTSDのアセスメント、及びそれへの対応は心理的支援を行うときに重要なポイントとなる。具体的に例示しながら、トラウマへの対応のスキルを身につける。		
	定員:30名	対象:初級~中級 (臨床経験者)	キーワード:犯罪被害者・トラウマ・PTSD・アセスメント
	事前学習 (参考文献)	小西聖子編著「犯罪被害者のメンタルヘルス」誠信書房 ISBN978-4-414-40047-2 B.O.ロスバウム他著「PTSDの持続エクスポージャー療法ワークブック」星和書店 ISBN978-4-7911-0811-4	
21-5	心理学実験における研究倫理をどう考えるか		坂上 貴之(慶応義塾大学文学部)
	心理学論文を投稿する際に、最近では多くの学会から、実験実施の際に倫理委員会の審査を受けたかを問われるようになり、いくつかの学会誌では、そうした審査での受理が条件となっている。本講義では、研究をする者としての倫理的行動を考えると同時に、実務としてそうした審査にどう携わっていくか、また審査に際してどのようなポイントが大切かを考えてみる。		
	定員:50名	対象:初級~中級	キーワード:個人情報・事後説明・倫理審査・倫理的行動
	事前学習 (参考文献)	心理学の実験倫理:「被験者」実験の現状と展望 河原・坂上編 勁草書房	
21-6	研究課題の歴史をどう理解するか:資料収集や情報収集のコツ		サトウ タツヤ(立命館大学文学部)
	自分の研究テーマの歴史を調べることはどのような意味があるのでしょうか。歴史を知ることで思わぬつながりが見えたり、研究者と社会の関係が見えたりするというのがその答えです。この企画では、歴史的思考を深めるためのフェーストステップについて解説していきます。学問史の基本的考え方を知り、自分自身の研究テーマに関する歴史的知識の収集の仕方を知り、自分の研究テーマを深めるにはどうすれば良いか、を考えます。		
	定員:30名	対象:初級~中級	キーワード:資料収集・歴史的思考・心理学史
	事前学習 (参考文献)	鈴木祐子・星野真由美・太田恵子・尾見康博・坂元章・佐藤達哉・溝口元 1995 日本の心理学史研究の現状と意義。心理学評論, 38, 396-423, 1995. サトウタツヤ 2011 『方法としての心理学史』 新曜社	

	日本版 WISC-IV 知能検査の特徴と活用		大六 一志(筑波大学人間系)
21-7	<p>WISC-IV は、知能検査 WISC の改訂第 4 版であり、米国で 2003 年、日本では 2010 年末に刊行された。4 つの指標得点 (III における群指数) を基本構造としている点では旧版 WISC-III を継承しているが、結果解釈を洗練あるいは充実させるためのいくつかの変更や、新しい視点の導入がなされた。本ワークショップではこれらの変更点や新しい視点について解説するとともに、実践的活用の可能性について述べる。</p> <p>※2012 年児童青年精神医学会の講演とほぼ同じ内容です。</p>		
	定員：100 名	対象：中級	キーワード：WISC-IV・知能検査・IQ・発達障害・特別支援教育
	事前学習 (参考文献)	上野一彦・宮本信也・柘植雅義 (2012) 特別支援教育の理論と実践 第 2 版 I 概論・アセスメント. 金剛出版	
	心理学研究のための PAC 分析：自由連想、多変量解析、了解的データ解釈で事例に迫る MIX 法		内藤 哲雄(福島学院大学福祉学部)
21-8	<p>PAC 分析(Analysis of Personal Attitude Construct)は、個々人のイメージや態度の、構成変数を自由連想によって収集し、その構造を多変量解析 (クラスター分析) を用いて解析し、そのデータ構造の意味を、対象者自身が検査者と共に探索していく現象学的データ解釈技法を援用し、了解可能にする事例研究である。今回のチュートリアルでは、PAC 分析の特徴について概説し、心理学分野における実践や研究での限界や有効性 (価値を引き出す方法) についてお話ししたい。</p>		
	定員：50 名	対象：中級	キーワード：個人別・自由連想・多変量解析・了解的データ解釈・事例研究法
	事前学習 (参考文献)	内藤哲雄著『PAC 分析実施法入門(改訂版)：「個」を科学する新技法への招待』ナカニシヤ出版	
	アサーション〈自己表現〉トレーニング		平木 典子(統合的心理療法研究所 (IPI))
21-9	<p>アサーションとは、自他尊重の自己表現を意味する。その考え方と方法は、人間のコミュニケーションを行動 (言語・非言語表現)、認知 (ものの見方)、感情の面から理解し、対人間コミュニケーションの改善・促進による個人の成長、組織や集団における創造的行動の活性化につながるようとする心理教育的アプローチである。本研修では、その要点を紹介する。</p>		
	定員：50 名	対象：初級	キーワード：アサーション・人権・認知上のアサーション・言語表現・感情の働き
	事前学習 (参考文献)	改定版「アサーション・トレーニング—さわやかな〈自己表現〉のために」 日本・精神技術研究所 (金子書房でも購入可)	
	Video-feedback Intervention to promote Positive Parenting : ビデオフィードバックによる親子関係への介入技法		Mrinus van Ijzendoorn (Leiden University) Kazuko Behrens(SUNY, Institute of Technology) 近藤 清美(北海道医療大学)
21-10	<p>Video-feedback Intervention to promote Positive Parenting (VIPP : ビデオ育児支援法)は、オランダ・ライデン大学で開発されたアタッチメント理論に基づく親子関係への介入技法である。ワークショップでは、VIPP でのアタッチメント理論と技法のつながり、実際の映像を用いての技法の解説とともに、VIPP の効果研究を紹介する。</p> <p>※子育て支援・親子関係支援に関わる専門家、それらに興味のある方を対象とします。</p>		
	定員：50 名	対象：初級	キーワード：親子関係調節・アタッチメント理論・ビデオフィードバック
	事前学習 (参考文献)	Promoting Positive Parenting: An attachment-based intervention. (Eds.) F. Jegger, M. Bakermans-Kranenburg, & M. H. van IJzendoorn. Lawrence Erlbaum Association. 「6 章 養育者との関係性の障害とその支援」 情動的な人間関係の問題への対応 (須田治 編) 金子書房	